



黒性原日猟獵奇
隔
病

蜻壺屋

18禁

スパイノ恋歌

鬼とスペイン風邪



蛸壺屋

大正7年
1918年

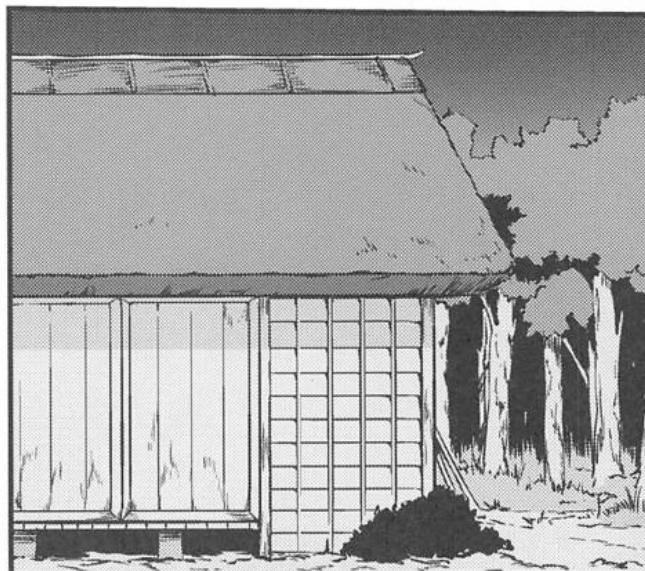
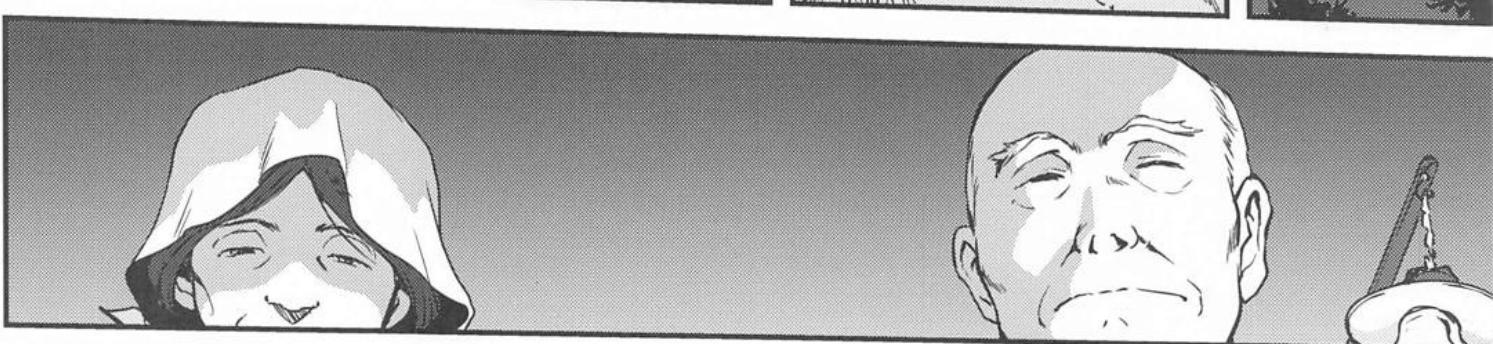
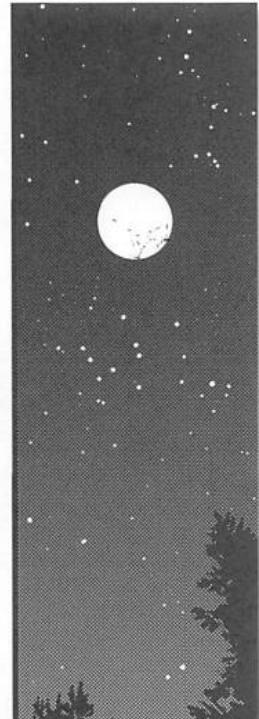
4年続いた
第一次世界大戦も
終盤を迎えた頃

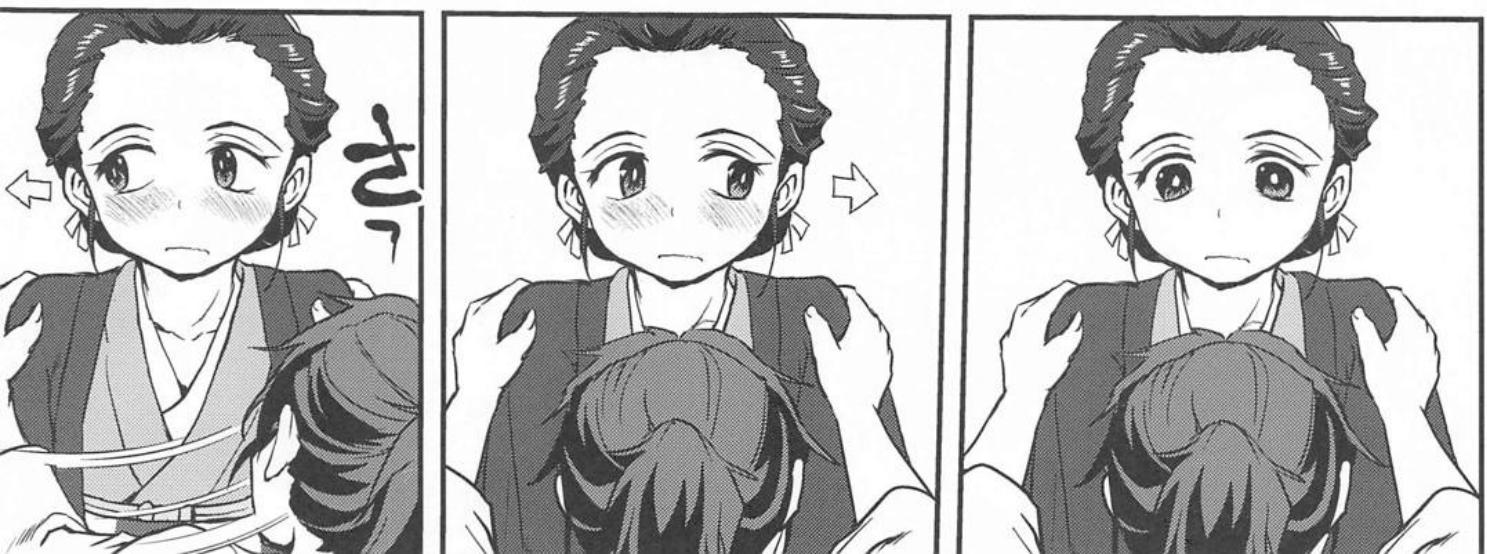
戦争で
列強の生産輸出が
途絶えた隙に
近代工業化を
進めている日本は
世界市場への
貿易を急拡大し
空前の好景気が
訪れていた

だがその恩恵は
貴族や財閥などの
富裕層に限られた





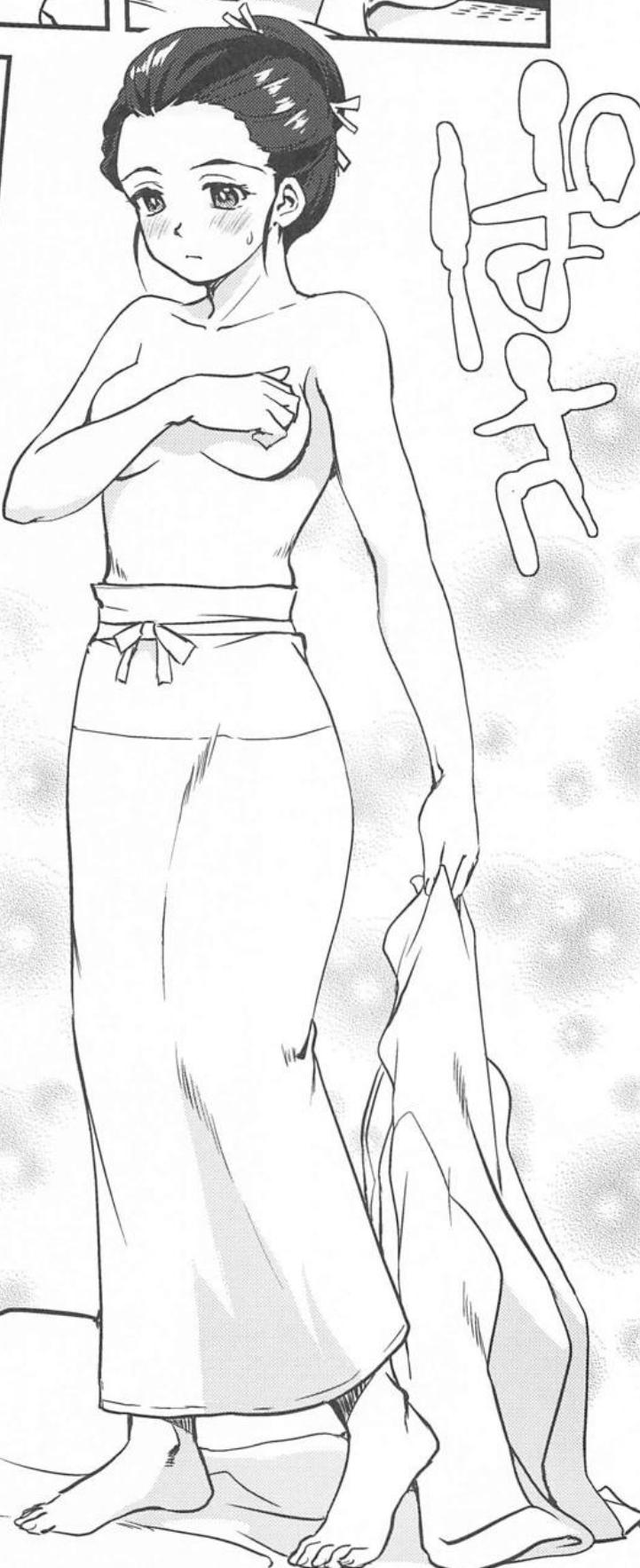
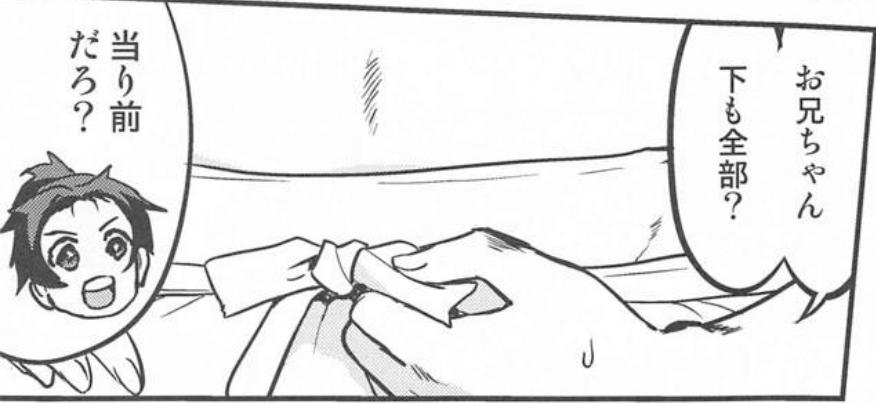


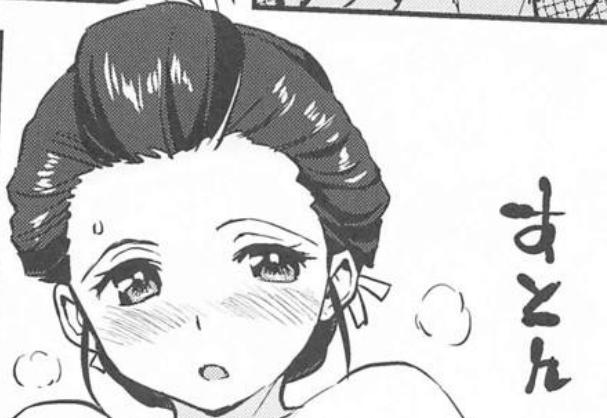
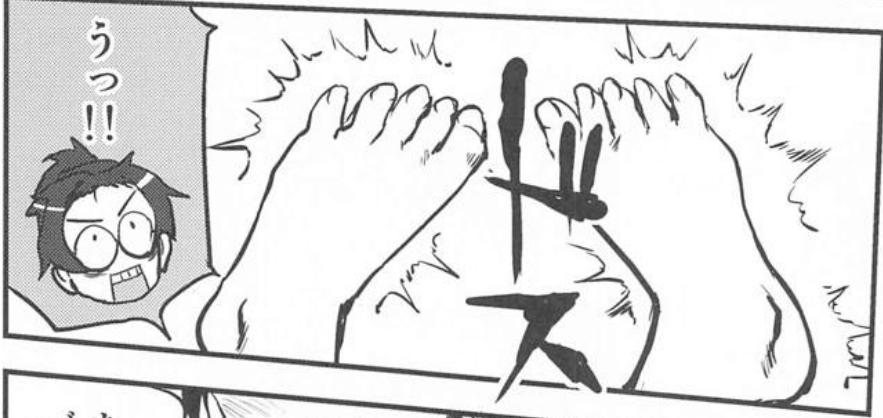
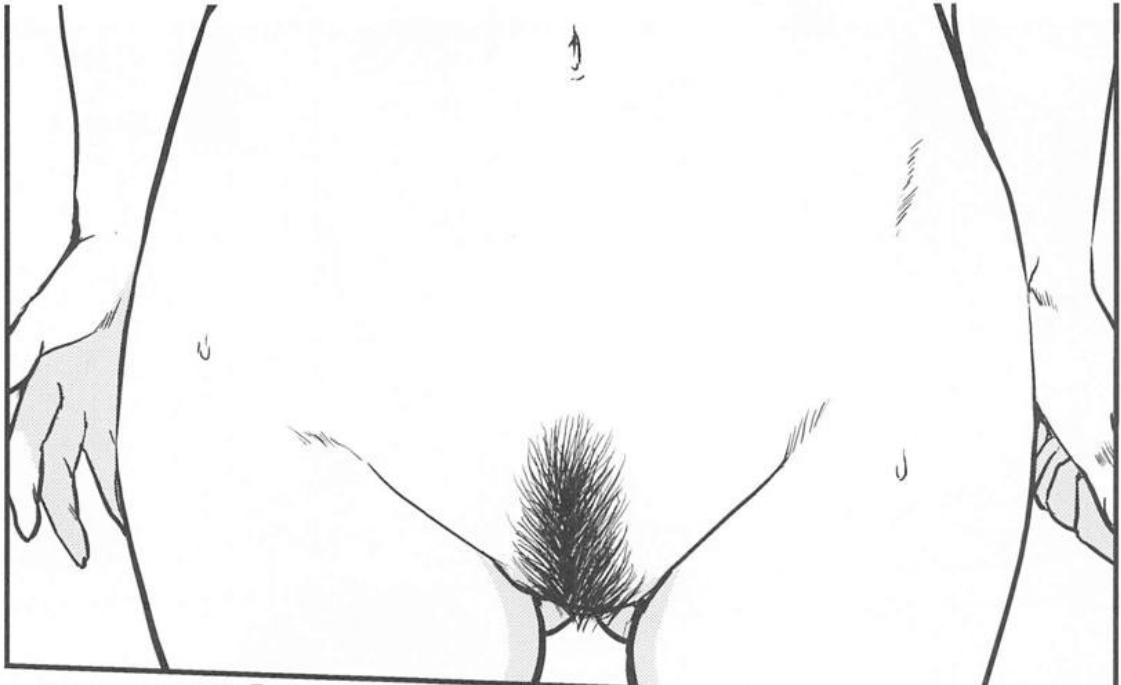


ごめん…
ウソ吐いて



何してるんだ
櫛豆子も
早く脱いで





の呪を

開い…

ひいいいい
いいいツ…



お兄ちゃんの胸板厚いー!!





お兄ちゃん
つながってる…

嬉しい

多幸感

気持ちいい…

ます。

ます。

へーき!!
もうど動いて



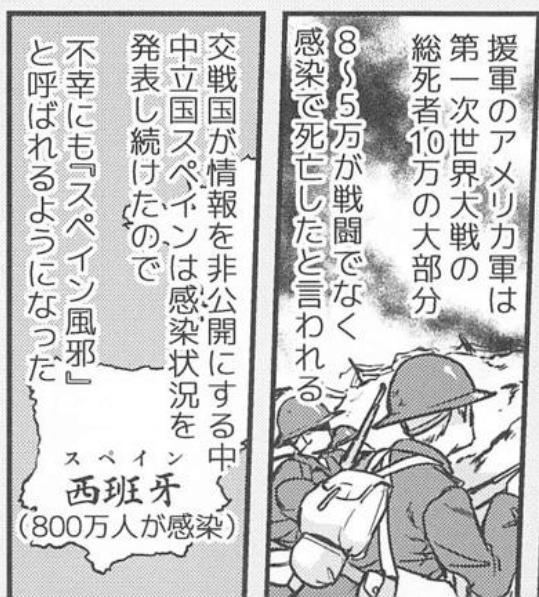
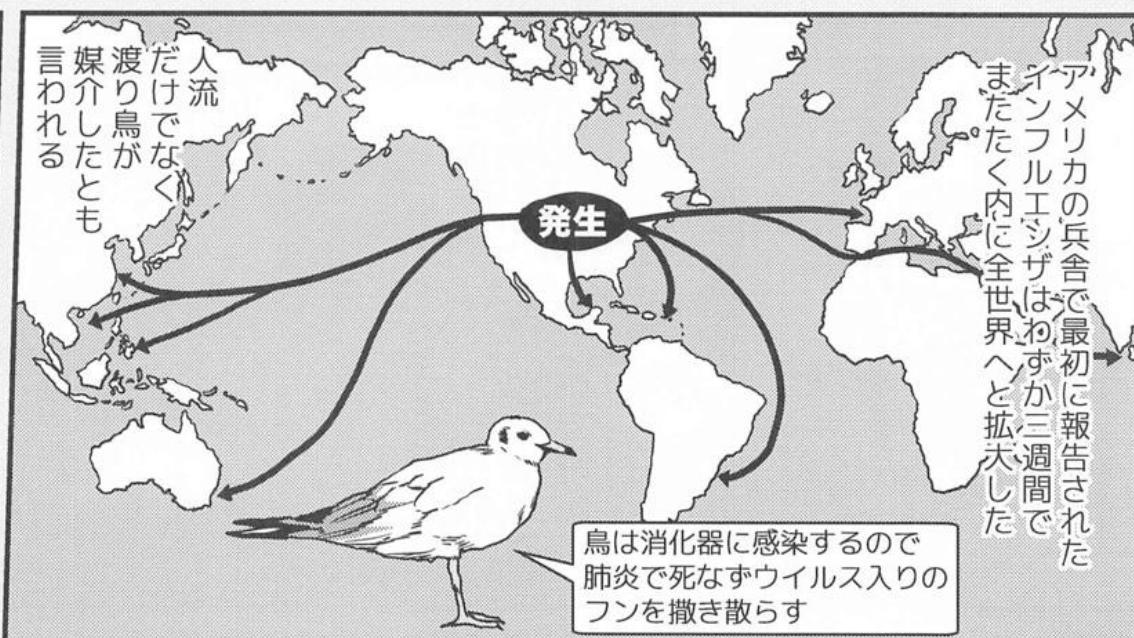
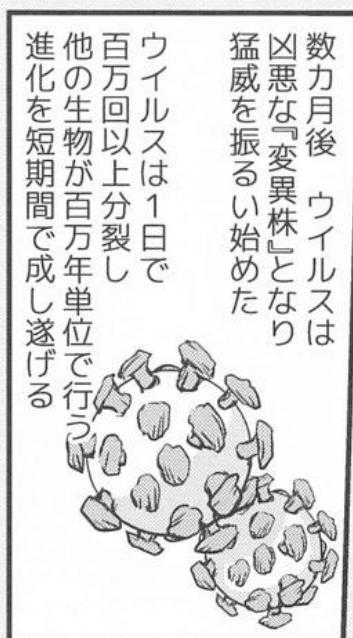
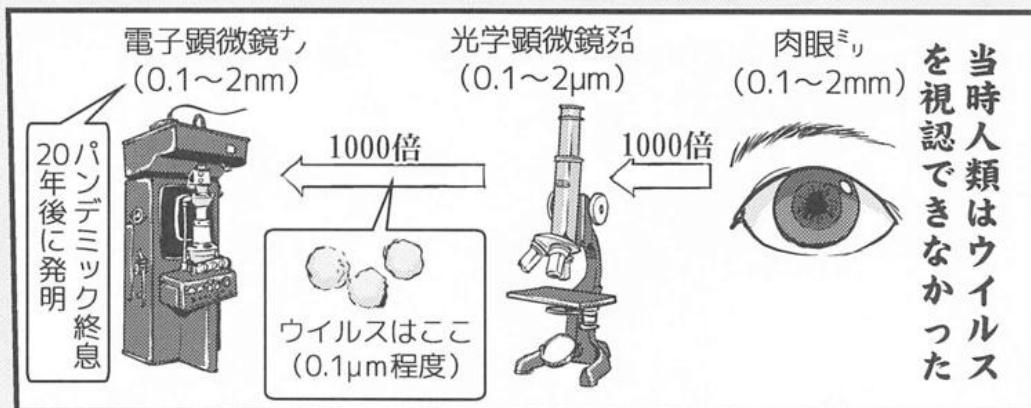


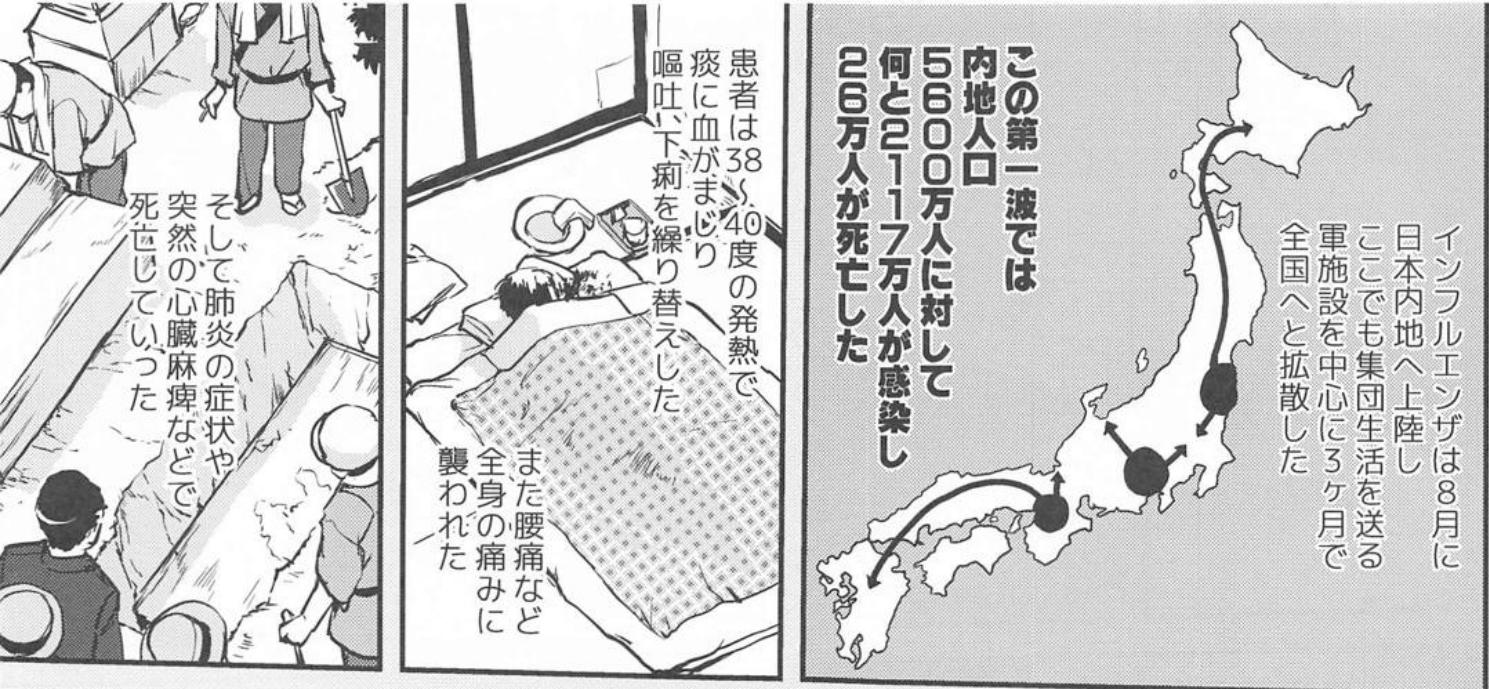
ふしぎ ねつびゅうあら

●不思議な熱病現はる

一九一八年六月二十日

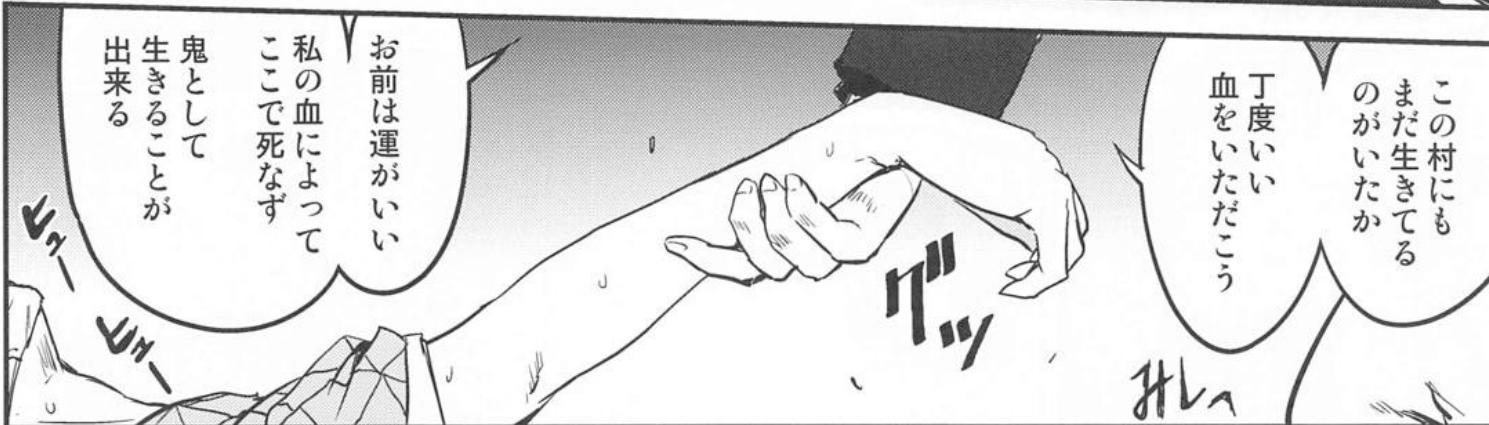
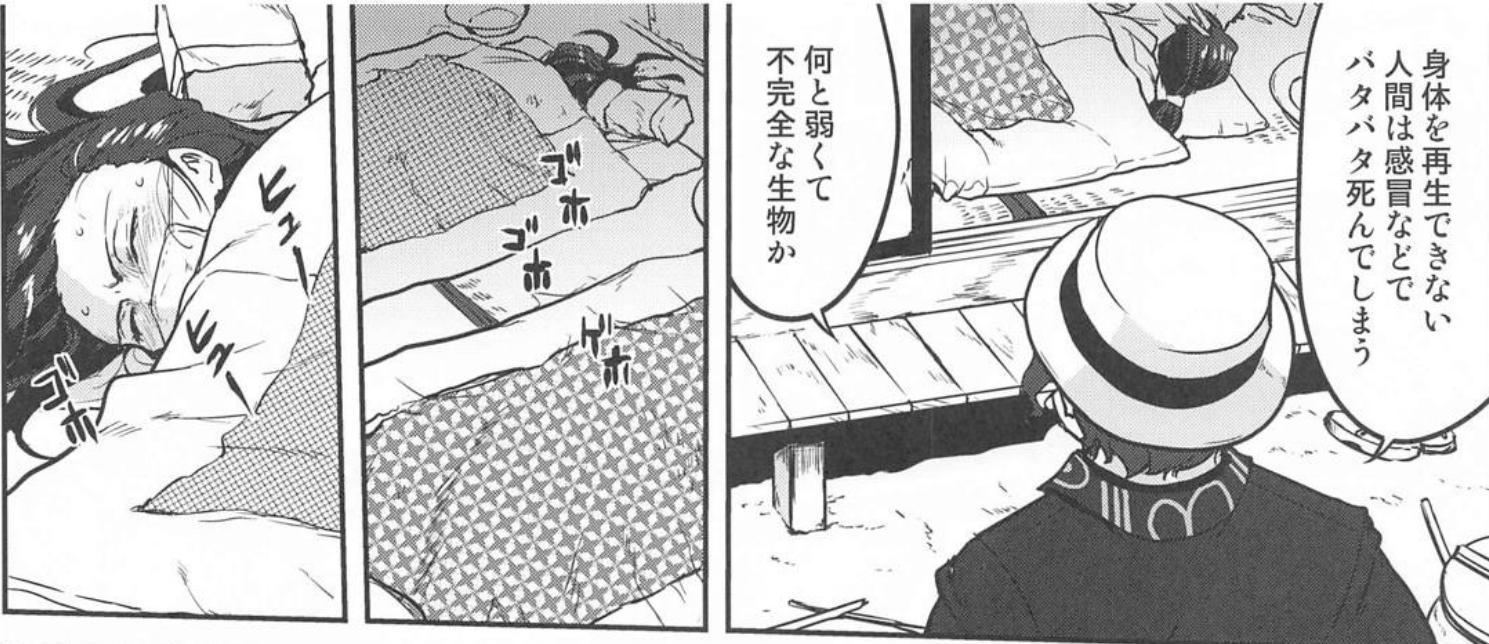
『台湾日日新聞』





『北海タイムズ』

●悪性感冒で
全村惨死
▽残る者只六人



鬼は
そうやつて
増える

西班牙感冒猖獗から

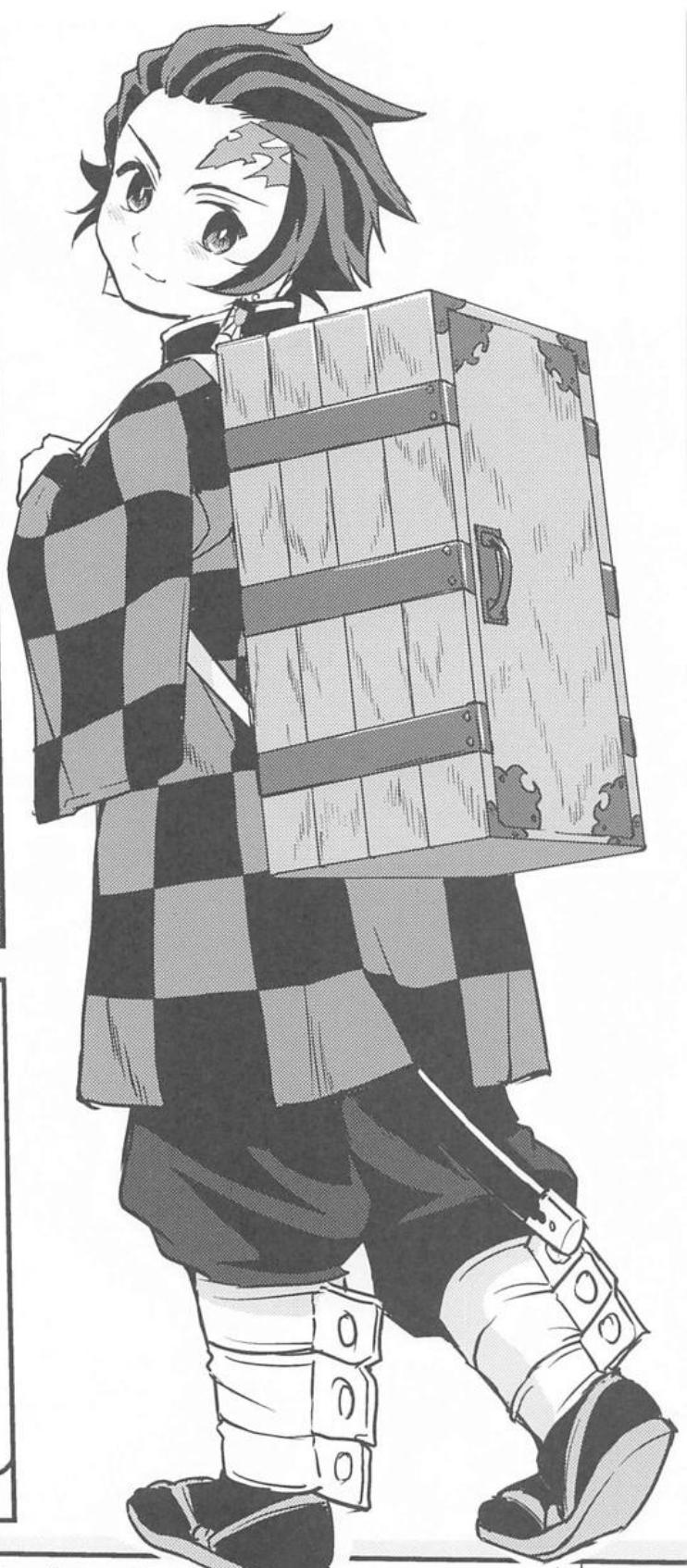
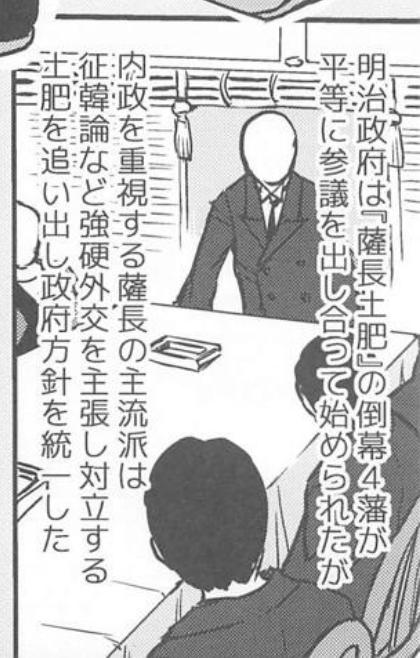
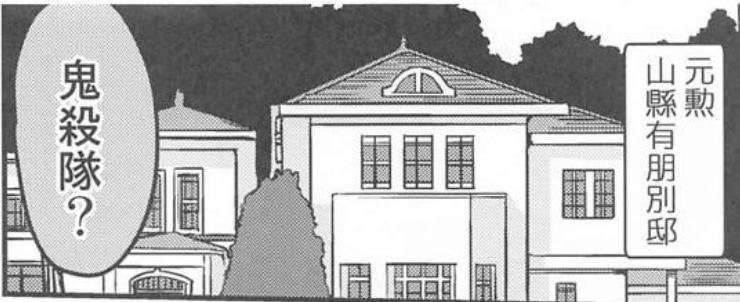
助かった代償として

禰豆子
兄ちやんだ
分かるか

鬼なんかに
負けるな

鬼に

なつた



山縣は帝国議会が開催されても政黨政治を信用しなかつたが

元勲『伊藤博文』は議会制を尊重し自ら中道保守政党を作つて元老の意見を議会で主張した

立憲政友会 (今の自由民主党)



伊藤博文

その後世代が交代すると総理大臣は『山縣が推す長州軍人系』と『伊藤を引き継いだ政黨人系』が交互に務めるようになつた

山縣有朋(明治31年)
↓伊藤博文
↓桂太郎(山縣系)
↓西園寺公望(伊藤系)
↓桂太郎(山縣系)
↓西園寺公望(伊藤系)
↓桂太郎(山縣系)
↓山本権兵衛(反山縣)
↓大隈重信(反伊藤)
↓寺内正毅(山縣系)(大正7年)

ここに旧制度を廢する明治
維新は完成したと言われる

平民宰相
原敬

原の身分は平民であり明治維新では賊軍の岩手出身だった
そして米騒動で寺内総辞職後に登場したのが『伊藤博文』『陸奥宗光』に仕え西園寺政権からは立憲政友会の実務を担ってきた『原敬』であつた

閣下のご判断なら
鬼殺隊なるものには
何も申しますまい

調整力に優れた原は
これらの改革を元老の顔を立て
利権や賄賂が必要な者には与え
柔軟かつ実務的に進めた

分かりました

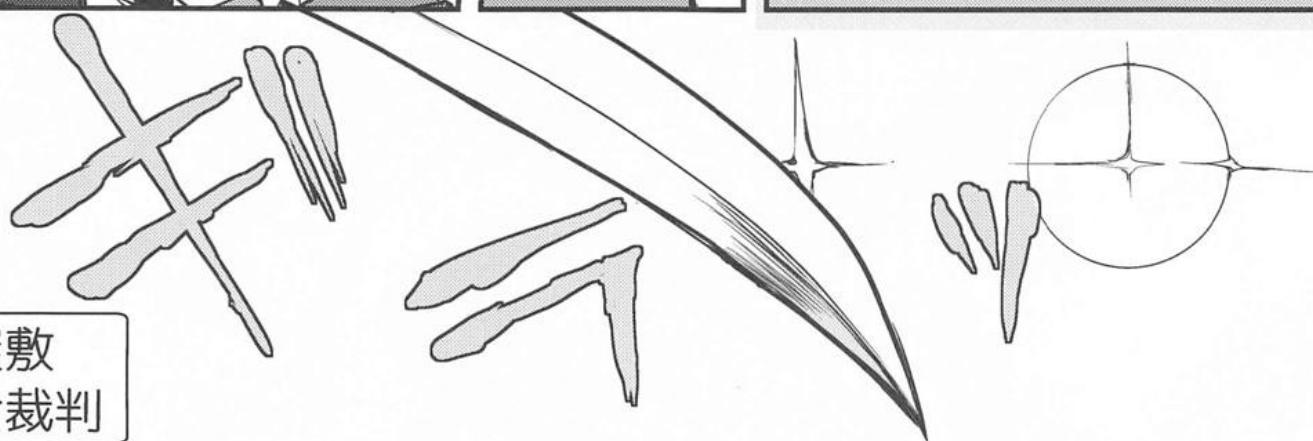
また日本の領土拡張主義を抑え
軍縮やシベリア撤兵など
軍の運営改革にも切込んだ

選挙資格を拡大して小選挙区制
へ改革し後の二大政党による
政権交代の基礎を築いた

地方の交通インフラを整備し
公立、私立学校の設立を進めた
大きく舵を切った

だがこうした
原の態度は
右新聞からは『藩閥に媚びてゐる』
と批判された

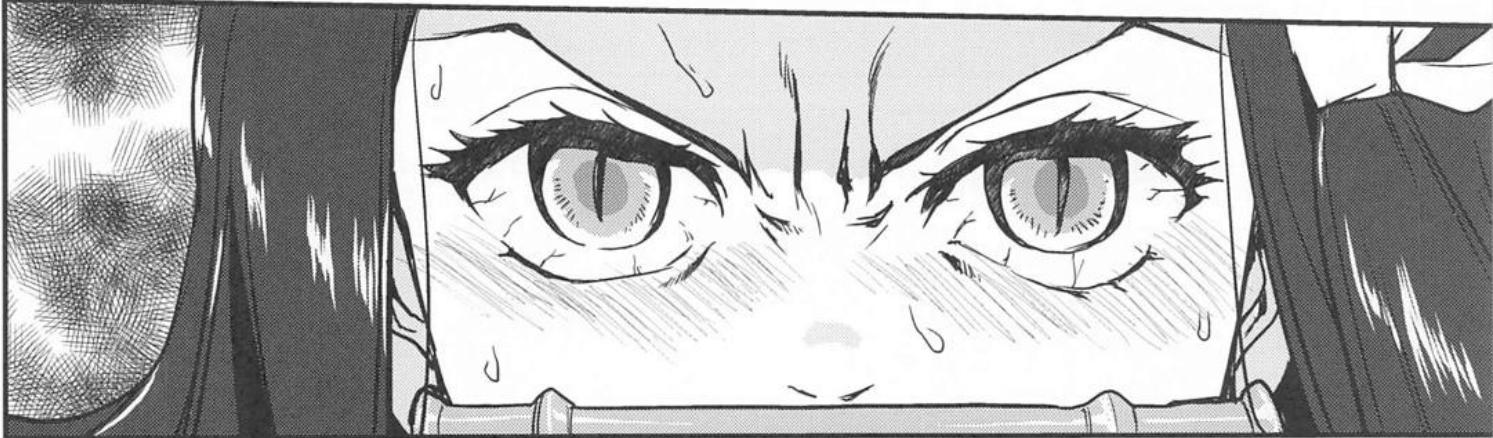
産屋敷 柱合裁判

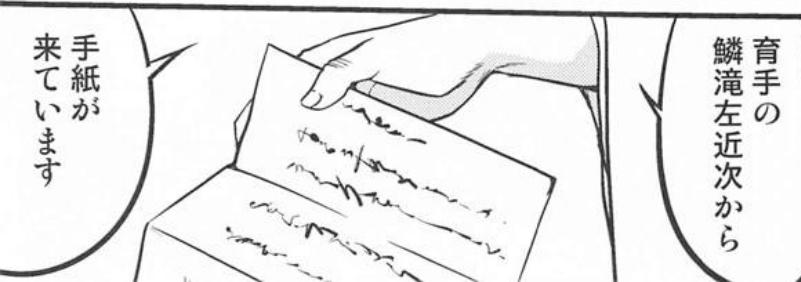
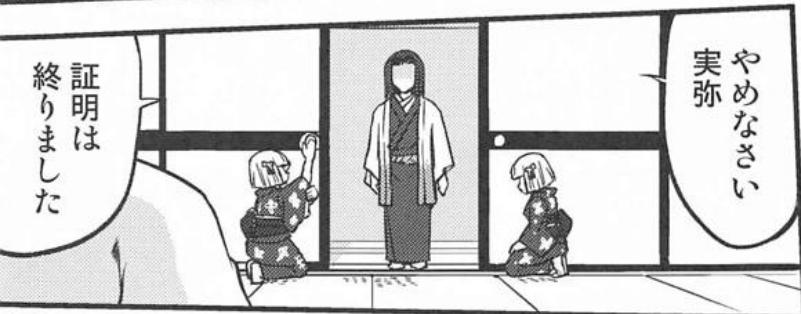


欄豆子ーツ



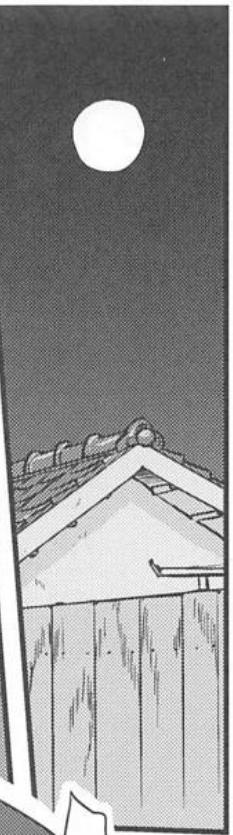
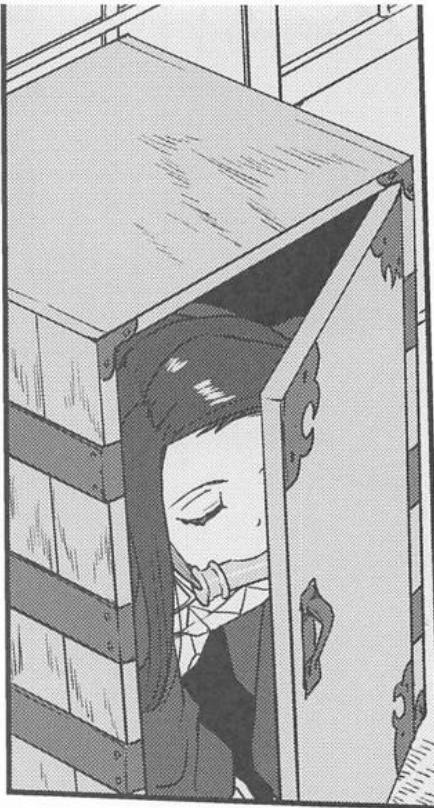
どうだ鬼
お前の好物だ



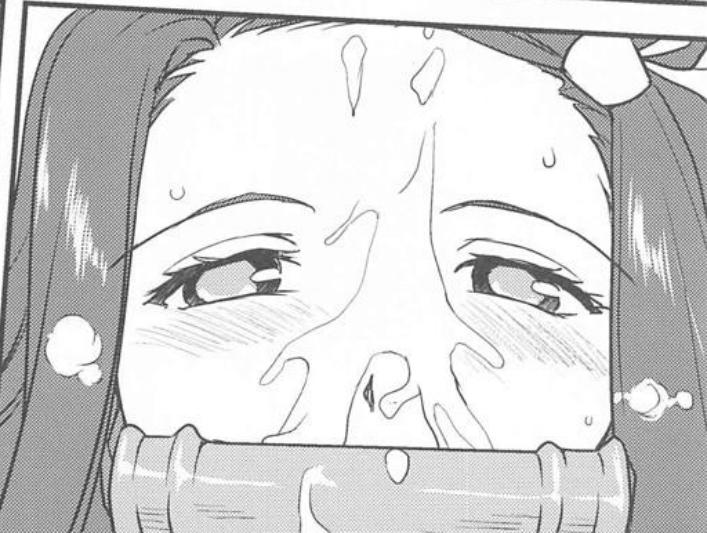


橋豆子が人を襲った時は
この鱗滝左近次と富岡義勇
が責任をとり切腹する





求めて来るってことは
少なからず嫌いだ
なかつたんだろうから



炭治郎

お前たち毎晩
何やつてんだよ

いや禰豆子が
求めて来るから
まぐわいを

分かった分かった
明日感冒で死ぬかも
知れないんだぞ
可哀想だろ！
今日は譲るから

そこは俺だろ！
兄妹で何やつてんの
俺が禰豆子ちゃん
好きだつて知つて
るよな！
身体張って守つた
とこも見てるよな

知ってるよ！
聞いてん
じゃなくて
責めてんの！

ねづこちゅーん

ホントに中身
入つてんのコレ！？
空箱じやないよね！

どうもこうもないよ
ピクリともしねーし！
ふあー
善逸どうだつた？



出ておいでー
一緒にお話しよう
直飲みはダメだけど
少しくらいなら血を
あげてもいいよー

覚えてるかな？
イノシシの攻撃から
守った吾妻善逸です
よー

柱を殺せ

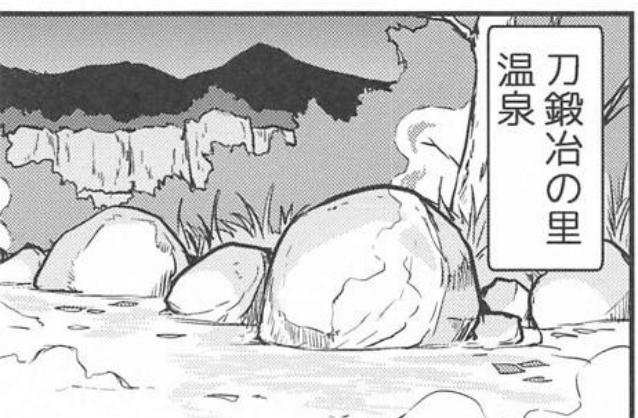
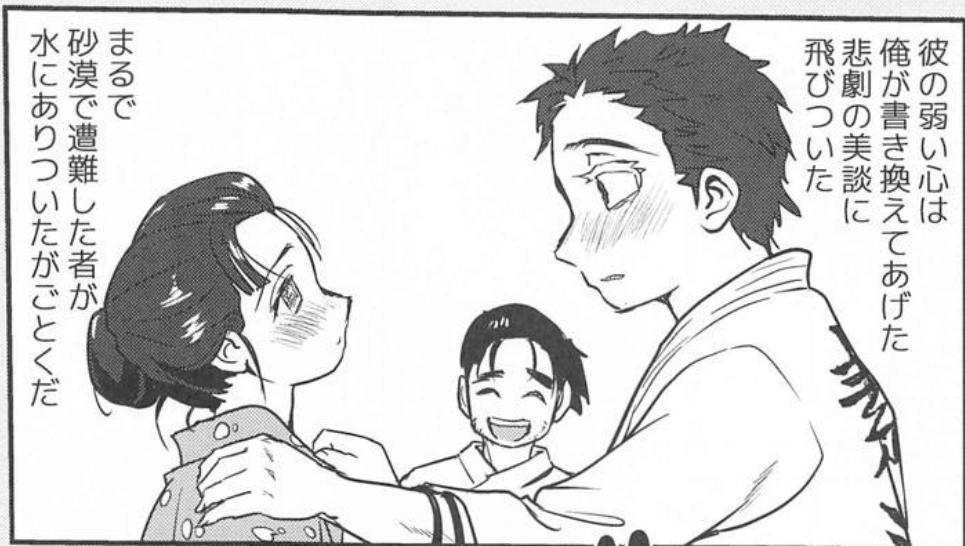
鬼刈りの

鬼になれ
煉獄杏寿郎

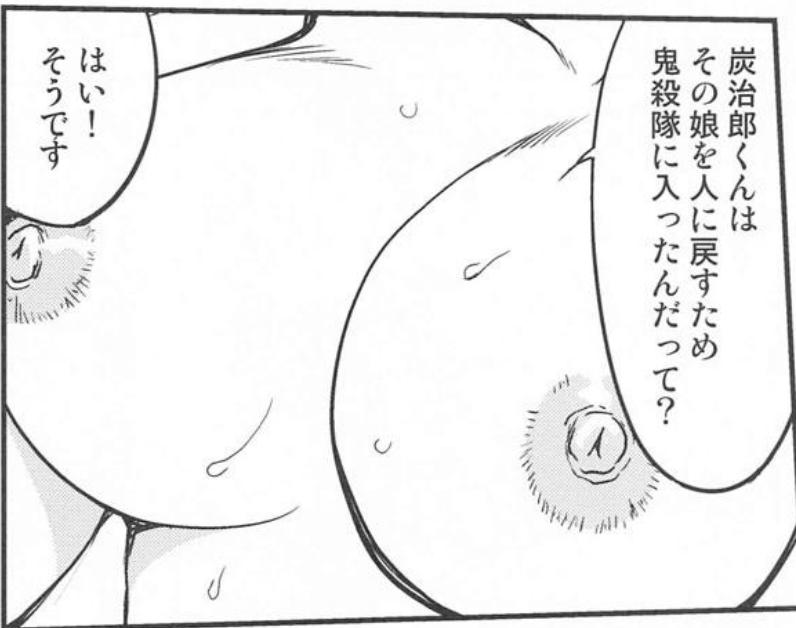
鬼になつて
俺と永遠に
戦い続けよう



数日後、隣の武道場での噂を知ると
泊治は武道場の井戸に毒を投込み
刃物で斬込んで放火し
家族と門下生67人全員を惨殺した



ほら櫛豆子
パンザーイして

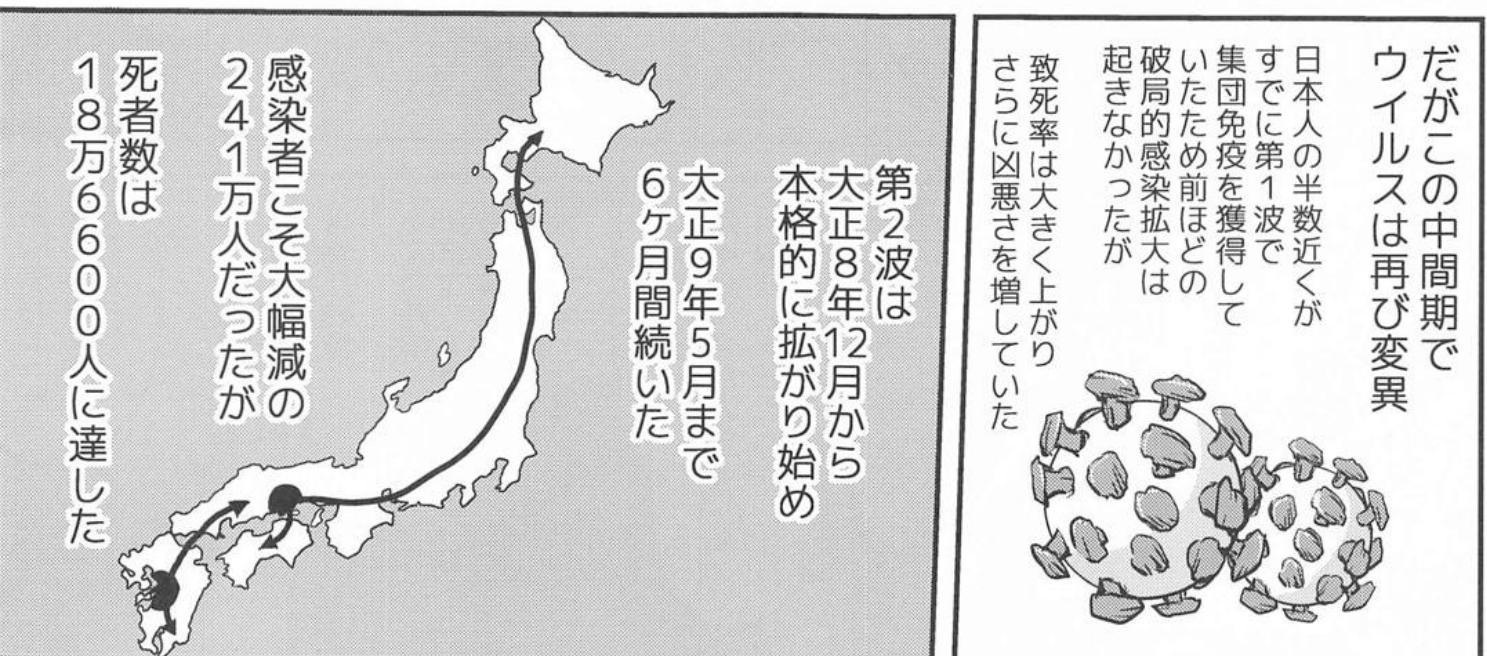
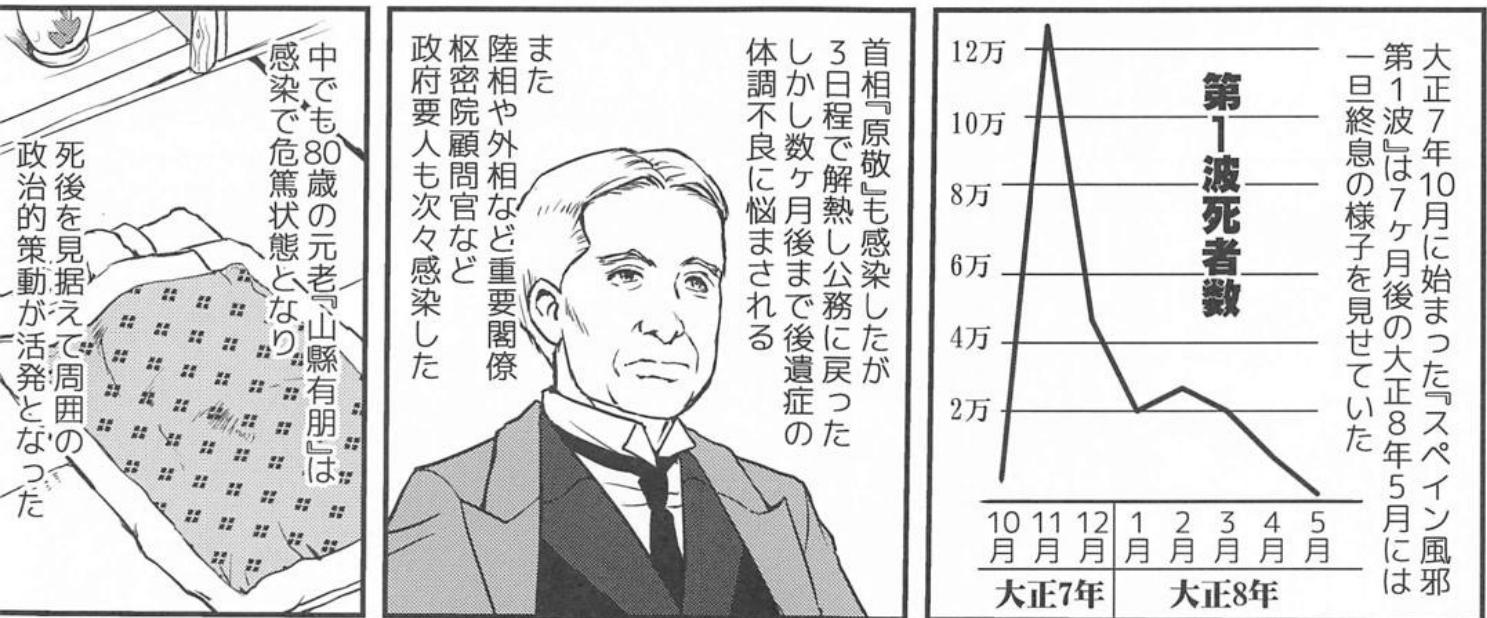




筋血流増大



欄豆子
大丈夫か！



そして第2波が猛威を振るう中

よかつたよ
無惨

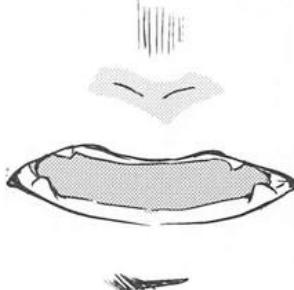
鬼と鬼殺隊の 最終決戦が 始まつていた



お前から
来てくれて



同じだ



無惨お前は

存在しては
いけない生き物だ

理由は鬼刈りが
気違ひの集まり
だからだ

相手をさせられる
俺の身にもなれ
いい加減にしろ

なぜお前達は
そうしない?

大災に会つたと
思つて諦めて
また日々暮せばいい
周りを見ろ
皆そうやつて生きている

死んだ人間が
生き返ることは
無いのだ

私に殺されるのも
今の感冒に殺されるのも
同じことだ



だが
それだけでは
まだ足りない

そういう動機も
無いとは言わない

落着け
傷を回復
させろ

あと私の名前を
気安く呼ぶな

見当違いの復讐か
興味もない

俸給でも高いのか?

この大正の世に
我々がなぜ命の危険もある
鬼殺隊に入ったのか

そんな理解しか
出来ないということは
分からなんだな

鬼舞辻無惨

頭に血が上つた
餓鬼には理解
できないか

俺達が勝つことが
決まってる
戦いだからだ

勝つからこそ
戦える

これは精神論
ではない

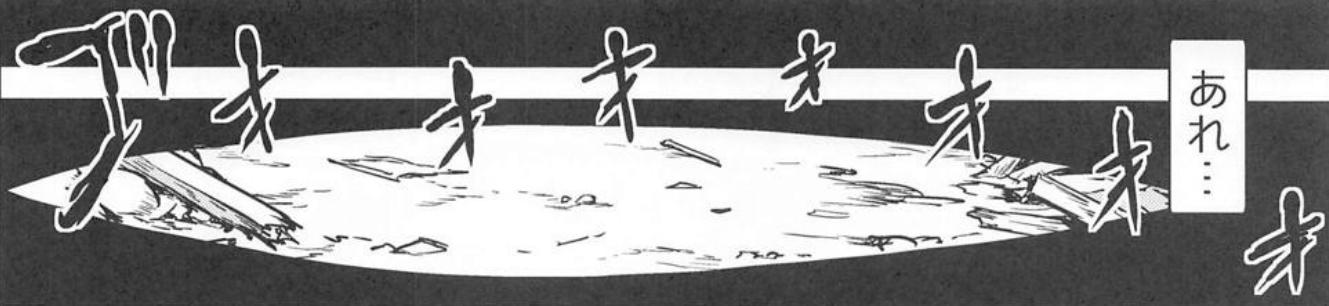
鬼は滅ぶべき存在
いやすでに
滅んでる存在
と言うべきか

『桃太郎』『金太郎』を
知つてないか
『一寸法師』なんて
のもいたが

鬼を消し去るため
人の世に生み出された
古の鬼刈り達だ



今オレ
気失つてた…?



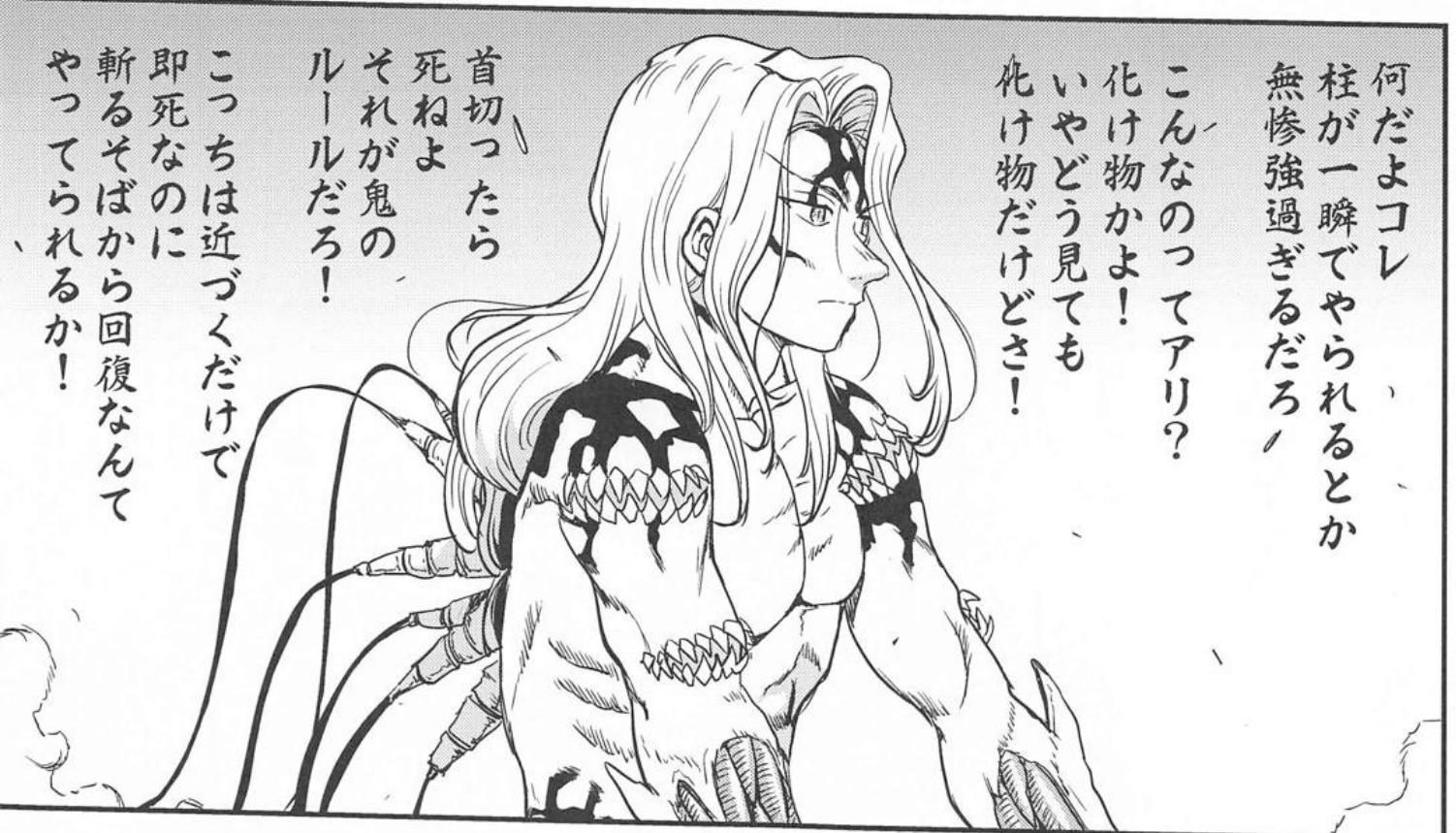
あれ…

無惨は…?

はあ

戦いはどう
なつてんだ…





それにして…

さつきから何か…
無惨の動きが
止まつてないか?

頼む
夜明けまでそのまま
ジツとしててくれ

死にたくないよ…

珠世様の薬が
効いてるんだ

え?

『老化』の進行で
さすがに疲れが
溜まってるはずだ

『分裂』も出来ないから
走つて逃げるしかない

だがそれも
奴が解毒を終える
までの間だ

それまでに鬼刈り達を
少しでも回復させないと

残念だ
鬼殺隊は負けた…

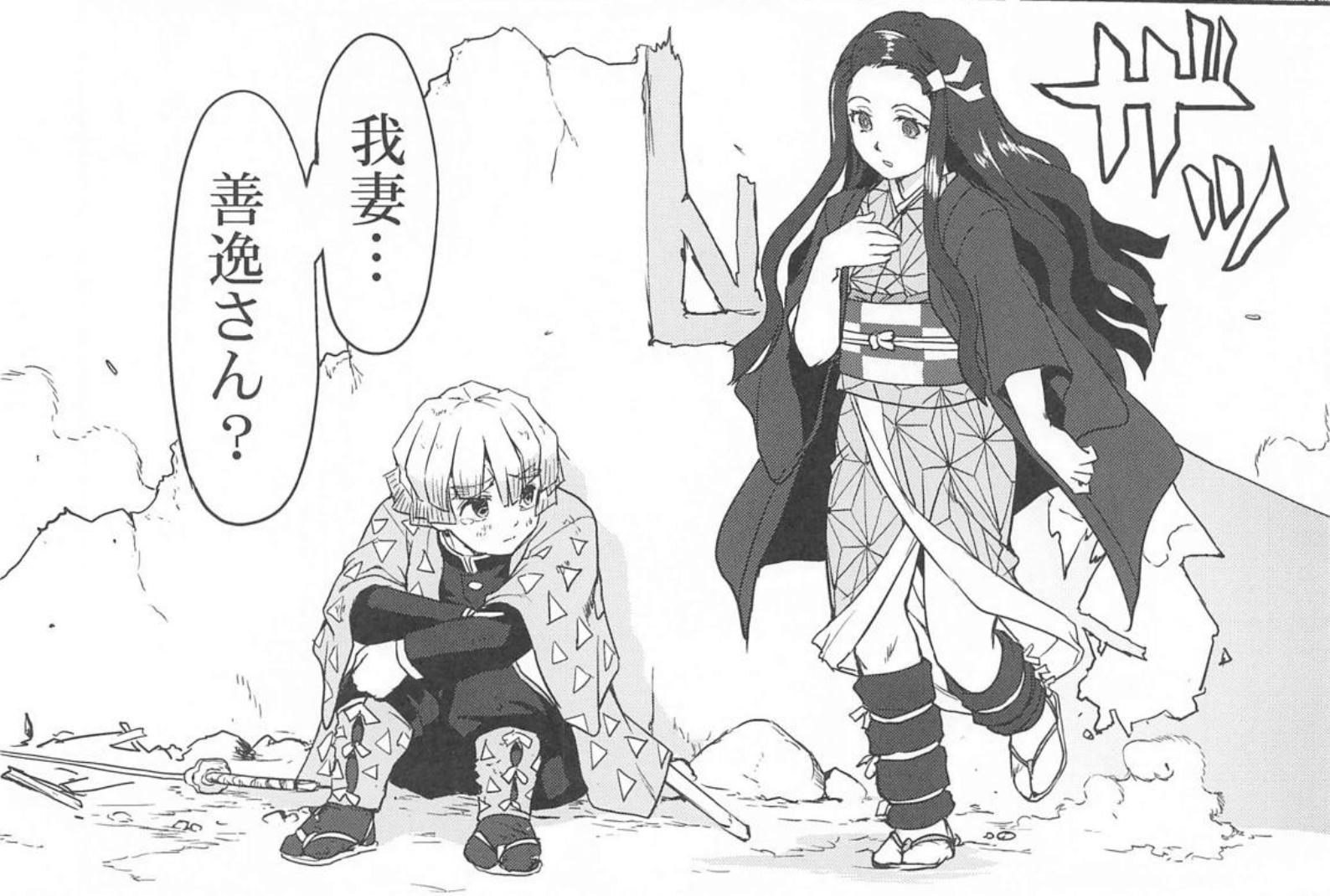


けど鬼は千年も昔からいて
無惨は余裕で逃げる
人類も滅んでないから
俺達には止められなぬ
今までと変わんない…よね



我妻…

善逸さん?







鬼舞辻無惨は

処置終わった

急げ次は
炭治郎だ

今度は…

とんだ姿で
現れたものだ

柱はまだ無理だ！
俺達がやらないと

い：行け！
今なら倒せる

ホントか？
弱つても俺達
より速かつたら…

誰が先頭に
なるんだ！

お願い
善逸さん

今誰かが
一の太刀を
付けないと

じやあさ：
俺が行つたら
結婚して
櫻豆子ちゃん

いいですよ

ええ
いいの？！

善逸さんに
命を賭けてくれと
頼んでるんです
私だつて人生賭けます

ちよつと待て…
スズメが近づけた
からといって
結婚してくれると言つても
死んだら結婚も何もなくな
いや死ぬつて…俺死ぬの？
死ぬ：死な：死に：
たくないよ!!

何の保証もないけどな!!

きっと大丈夫
この足でも：まだスズメよりは
速く打てるはず

櫻豆子ちゃんつて
意外と芯が強いんだね
：怖いお嫁さんに
ならないでね

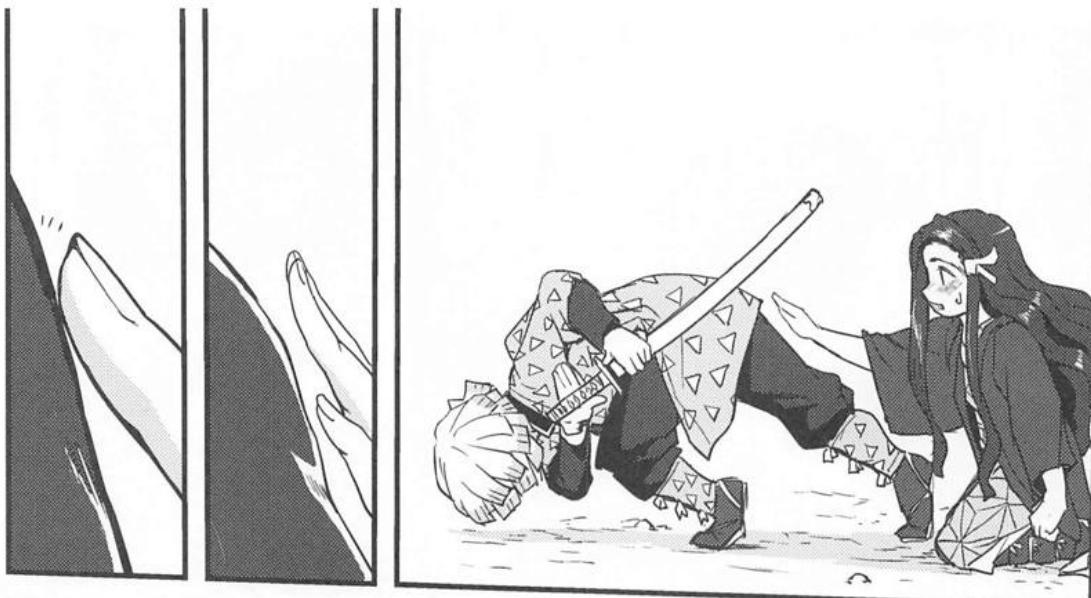
その時は善逸さんが
躊躇ください



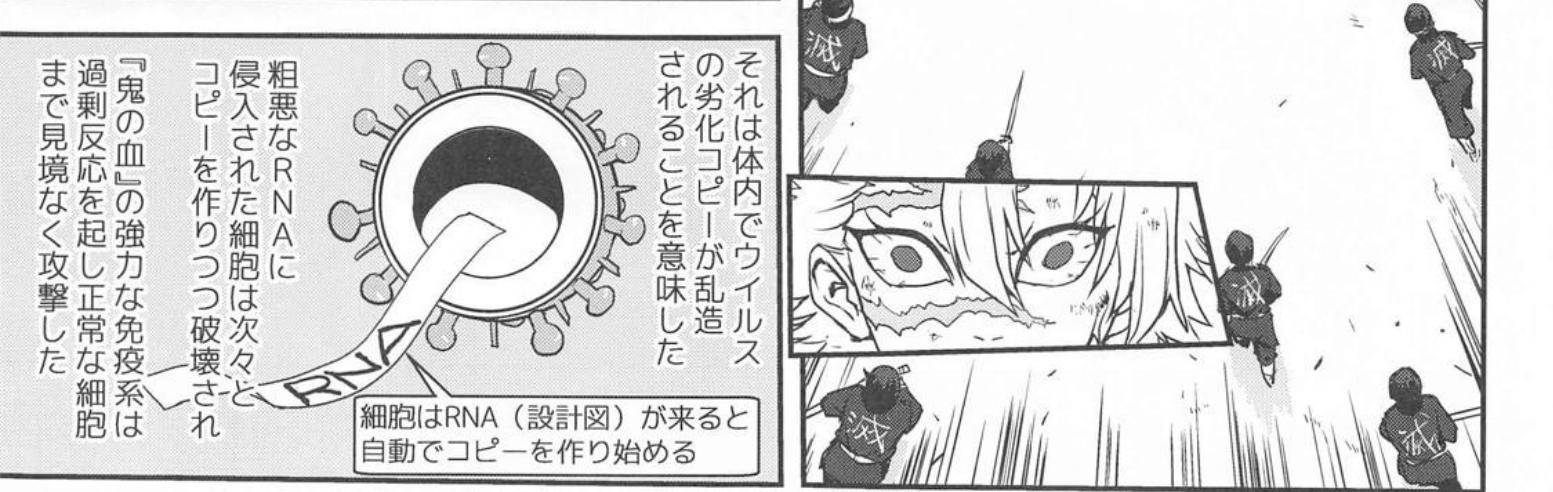
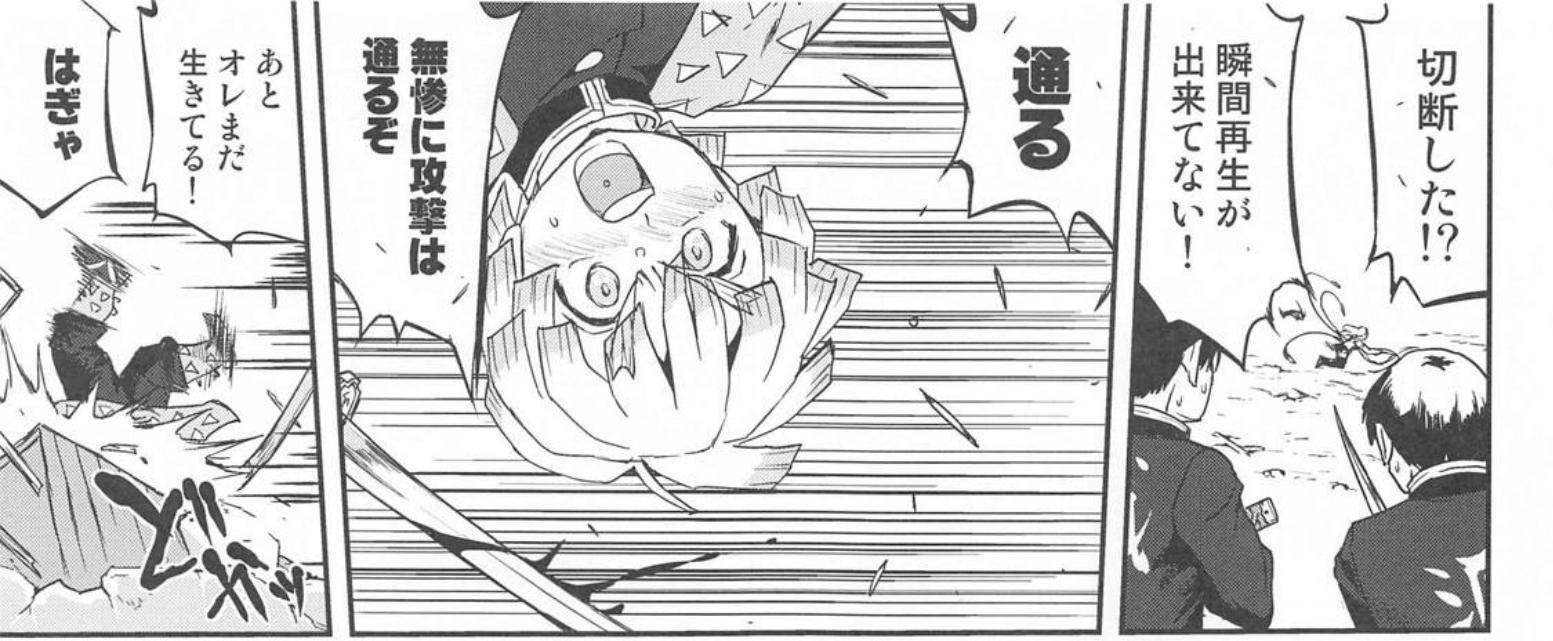
楠豆子ちゃん…あの
怖くて足が動かない
お尻を蹴つ飛ばして…

えええ！
そんなこと
できません

じや
軽く押すだけで
いいからお願ひ

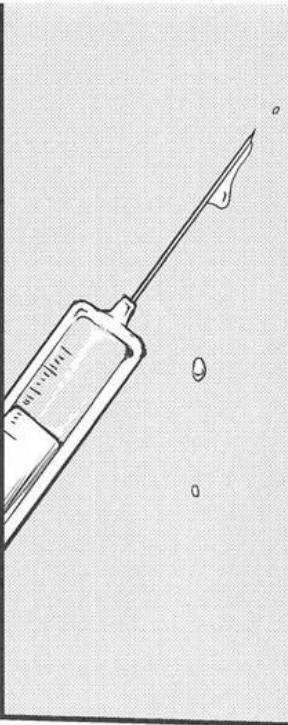


雷
之
呼
吸



お兄ちゃん
ダメ!!

さうに延長戦があつたものの



千年続いた鬼の問題は
ここに終息した



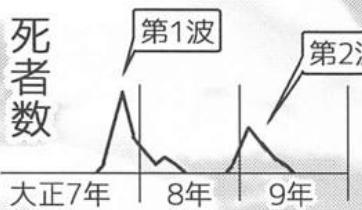
重症だった
隊員達も
ほぼ回復したよう
何よりです

産屋敷

数ヶ月後



鬼殺隊は
今日で解散します

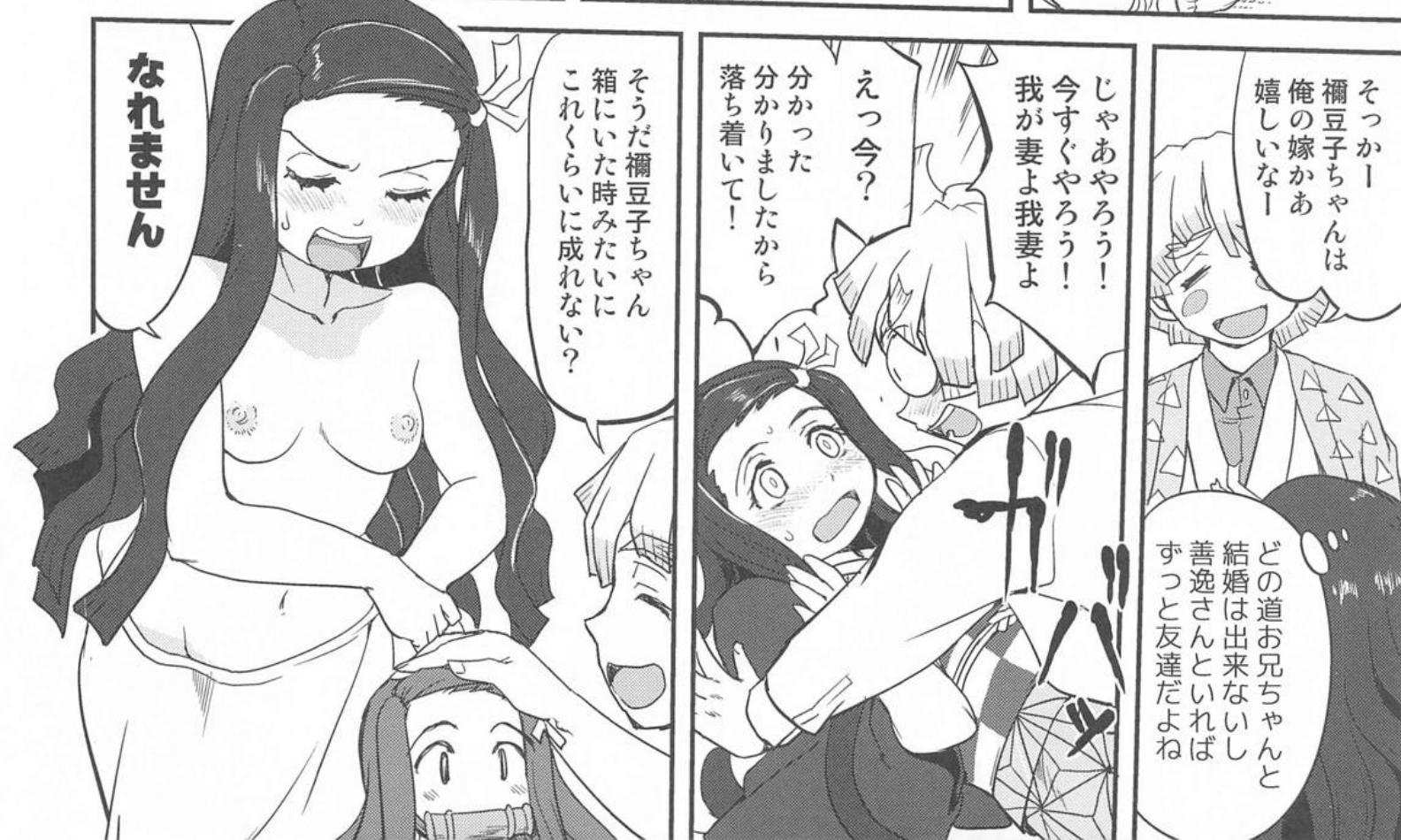
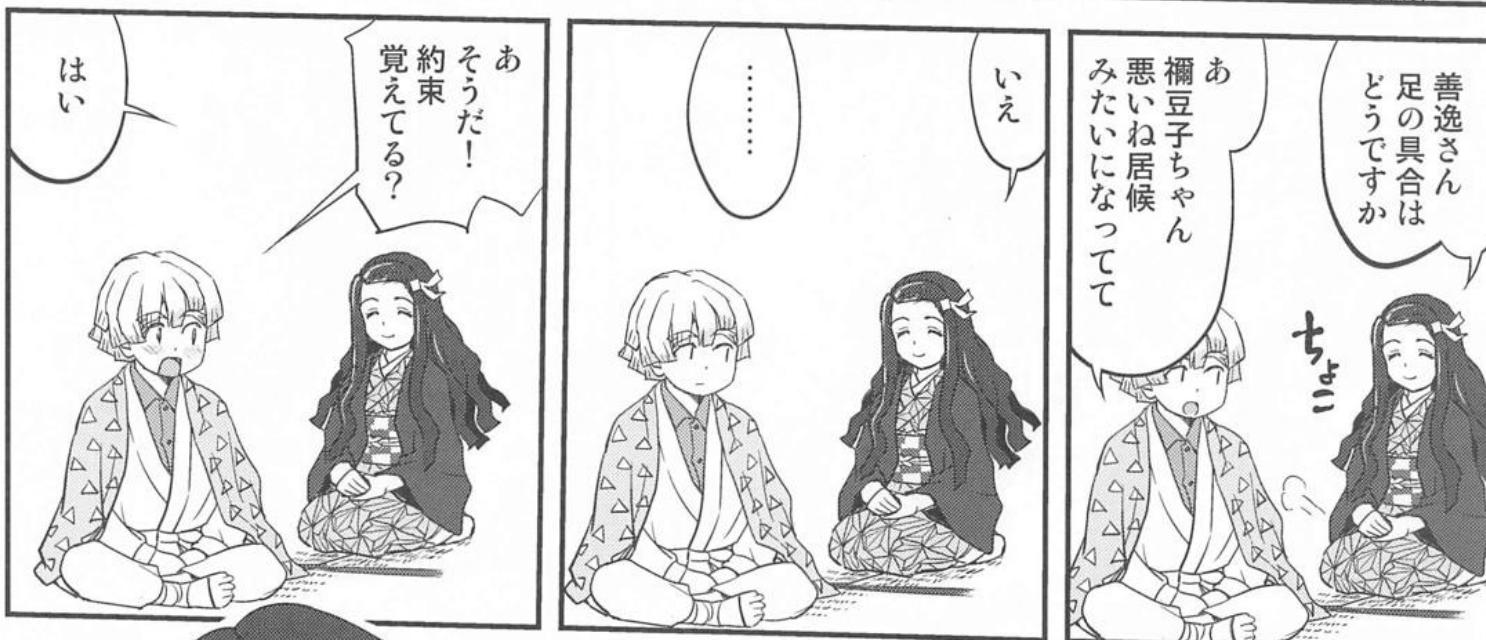
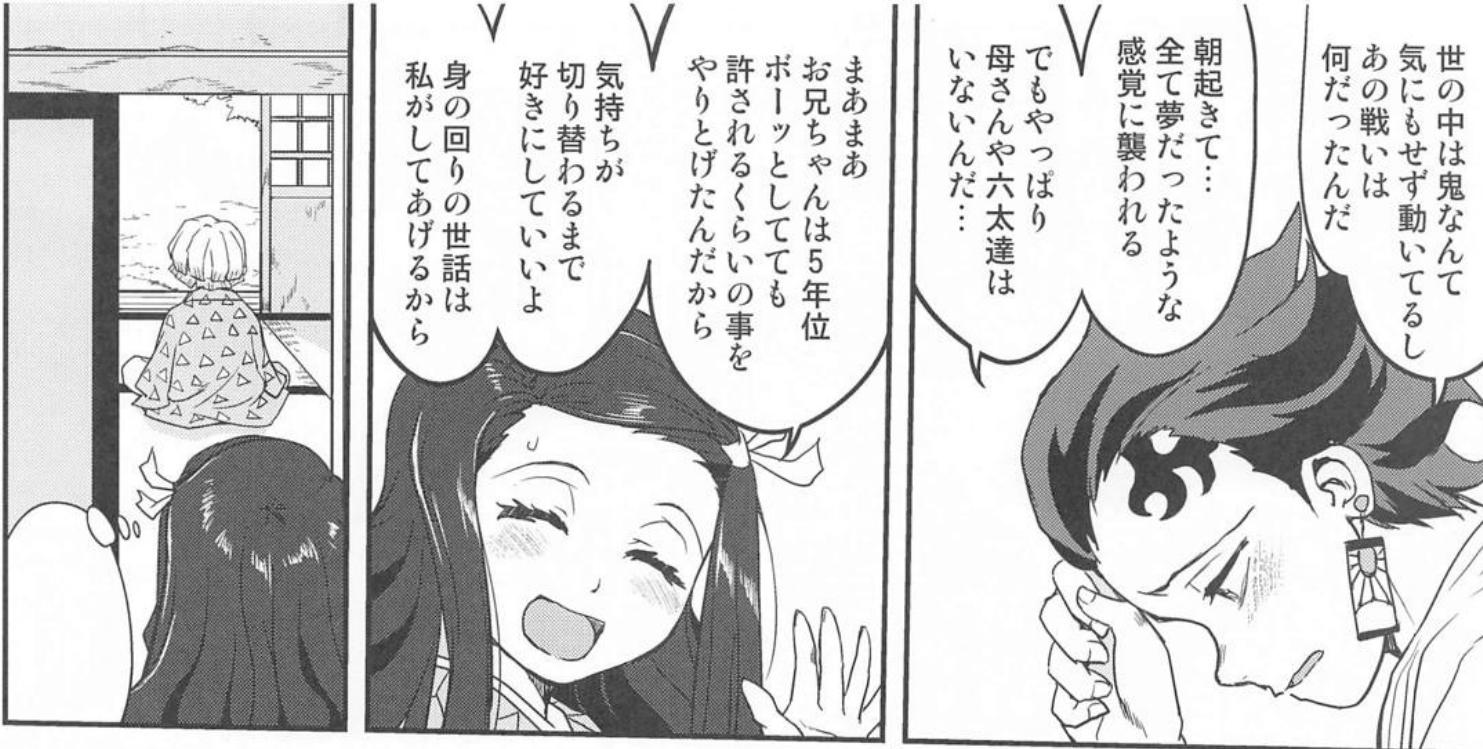


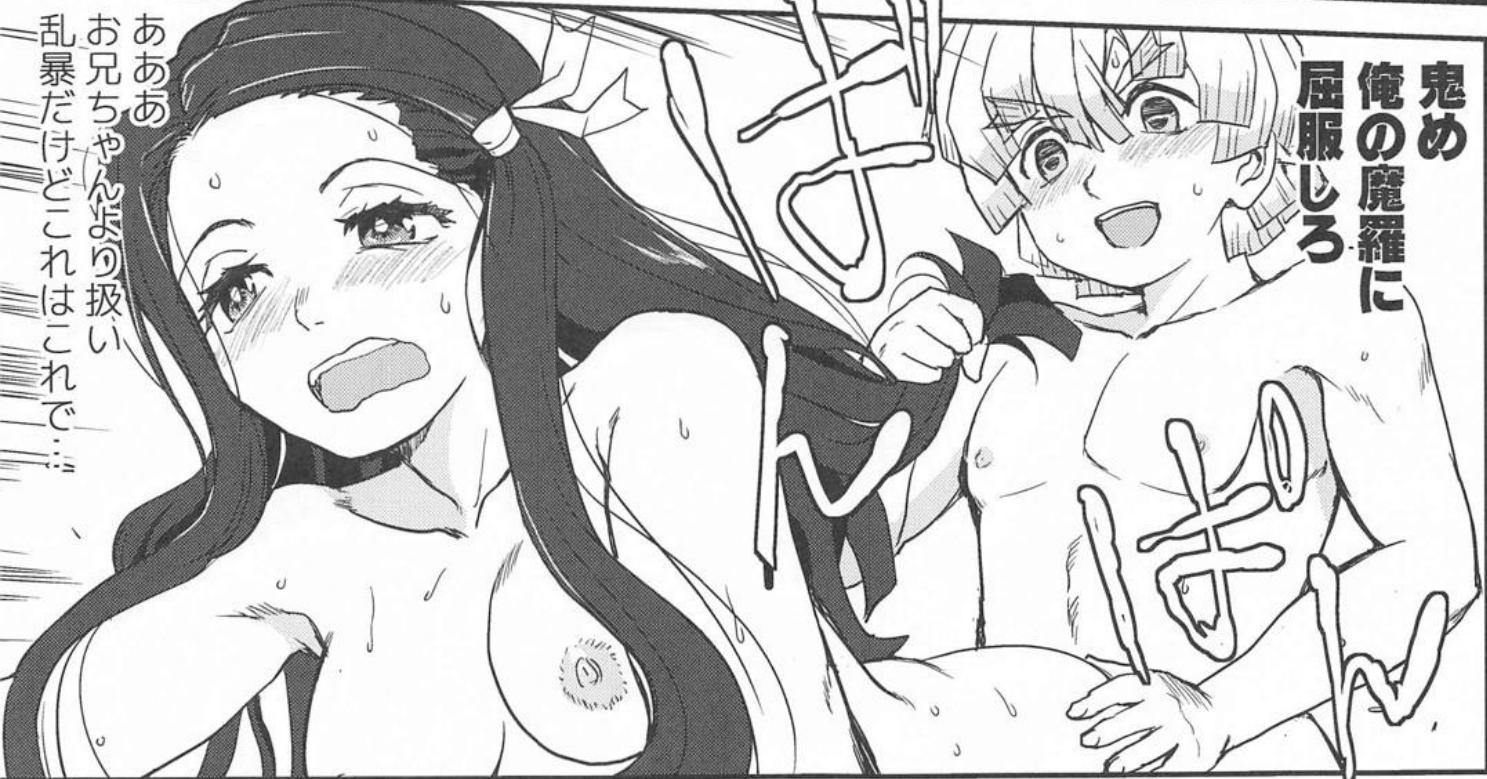
国内では
『スペイン風邪第2波』
も終息期を迎えていた
症状が深刻だった

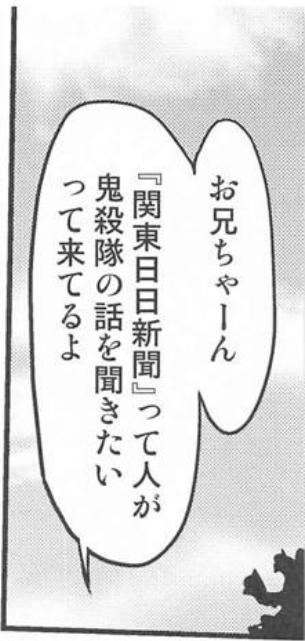
国内では

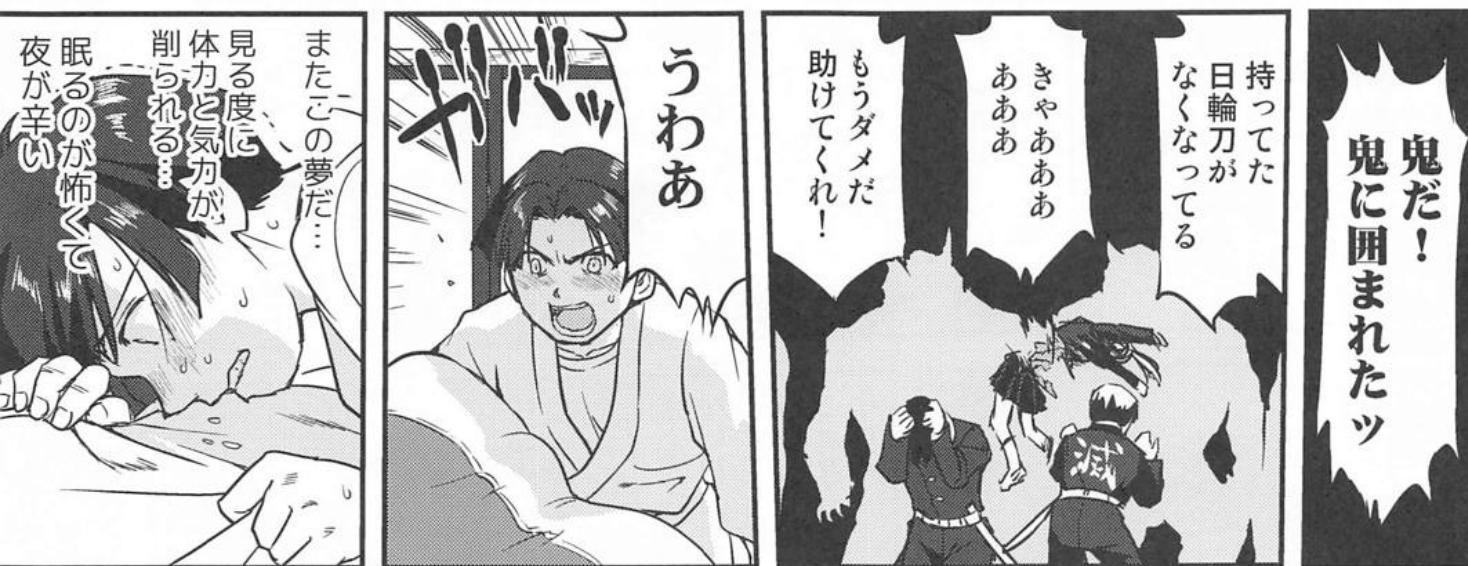
え
拾萬圓！
こんなに







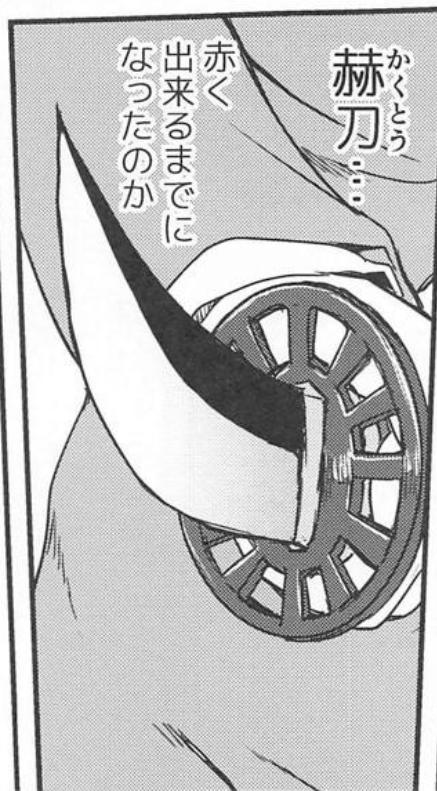
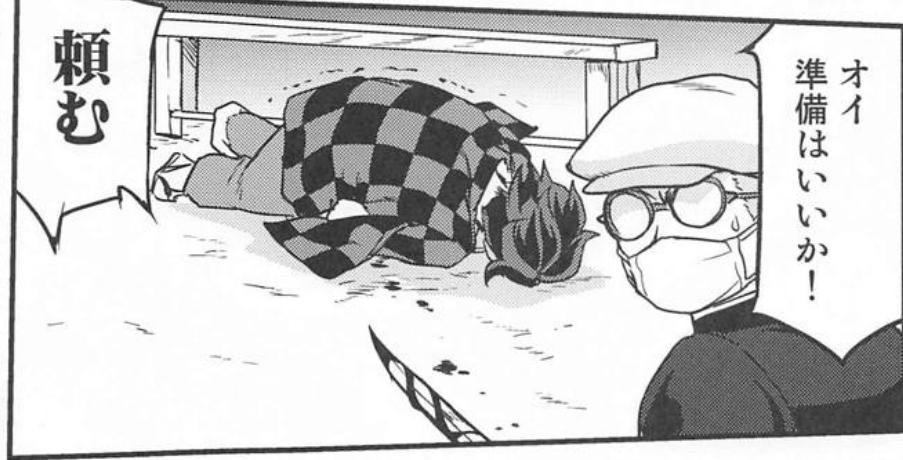




後遺症に悩まされているのは他の隊員も同じだった

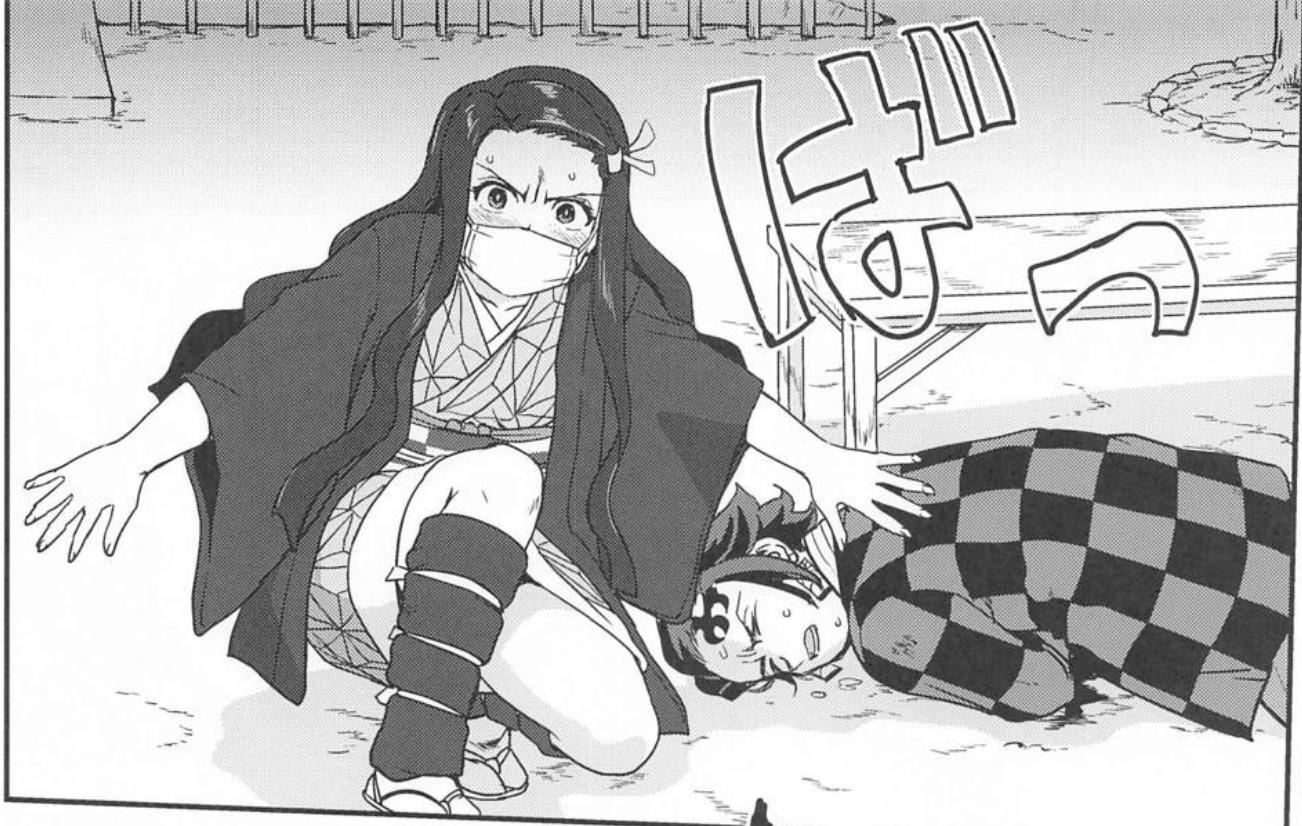






お兄ちゃん！

竈門 橋豆子



いつか こういう日が
来るような気がした：

どうどうか



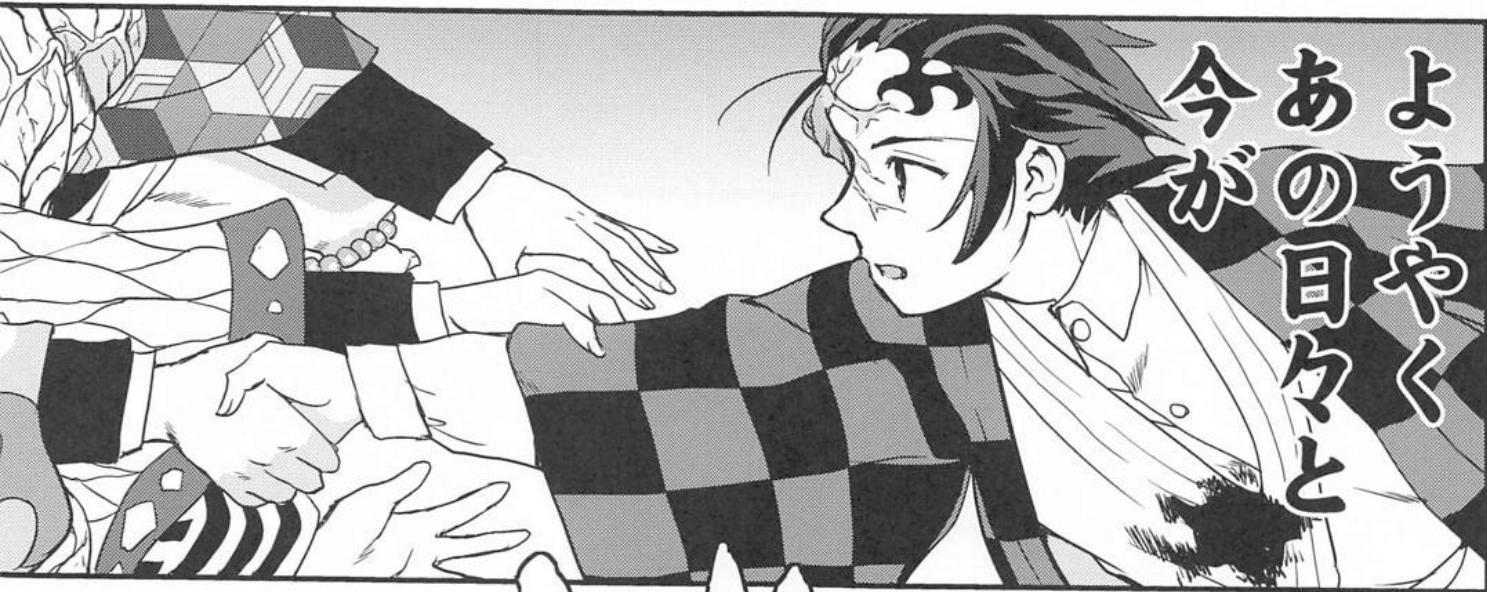
お前と竜門襷豆子は
陽の光を克服し

無惨の
最後の言葉が
ずっと頭に
残っていた

やれ!!
赫刀で首を落とさない
限り鬼は死はない

いつか誰かが
決着を付けて
来るはずだ

鬼の血は
一滴たりとも日本に
残してはいけない



翌日



それから間もなく



放浪と散財を
続けていた
伊之助も死んだ

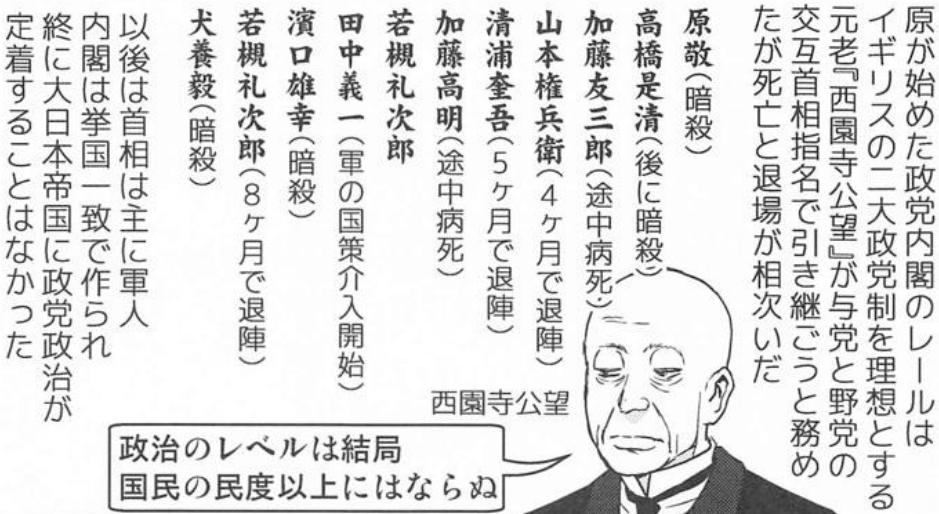


原が暗殺されて3ヶ月後
スペイン風邪から一時回復していた
山縣有朋は再び重体となり
今度は還らぬ人となつた

原はワシを
権力にしがみつく
老人だと嫌つて
いたようだ
ワシも原は
嫌いだつた



終息の原因は
国民の大半が感染し
ウイルスが無毒の
変異株に置き換わ
つた等の説がある

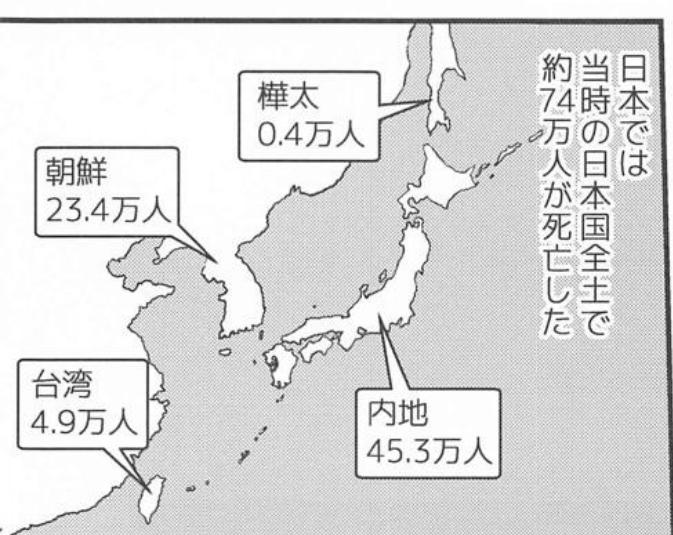


第一次世界大戦(4年)
死者900万~1600万人
(スペイン風邪と重複含む)

スペイン風邪(3年)
死者2000万~4500万人
(1億人説は最近は採られない)

第二次世界大戦(6年)
死者5000万~8500万人

少なくとも世界大戦規模の
犠牲者が出たと考えられている
スペイン風邪による総死者数は
国連がなく世界的な統計もない
時代のため今となつては不明だが



しかし終息の翌年
大正十一年九月
関東大震災が発生し
一〇万人が死亡した



後書き

どうも蛸壺屋です。

コミケが連続3回開催されず、2年ぶりの冬コミ開催でようやく新刊発行です。同人界隈の環境が激変した2年間でした。コロナ禍だけでなく、とらの大量閉店や電子書籍の加速などこの先どうなるか分かりませんね。個人の力ではどうにもならない部分に関しては時代の環境に合わせつつやっていくつもりです。

さて今回は鬼滅ですが、艦これを4年半も描いたので久々に毛並みの違う絵柄のキャラを描けて楽しかったです。原作は名前や美術以外の大正時代風味は少なめだったので今回成分多めにして描いてみました。

大正時代と言えば必ず出てくる原敬。有名な割には何をした人なのかマイナチ知られていない人物なので今回いろいろ調べてみました。コロナ騒ぎの応用で描いたスペイン風邪ネタも合わせて大正時代風味が出ていれば嬉しいところです。

あと個人的に変わった点といえば、液タブをワコムの4Kに買い替えてコミスタからクリスタに完全移行しました。作業のしやすさはかなり向上したので絵のグレードアップも期待してこれから使いこなしていきたいと思います。

ということで久々の新刊、楽しんでもらえれば幸いです。

誌名 鬼とスペイン風邪

発行者 蛸壺屋

発行日 2021年 12月30日

印刷所 大陽出版

ご意見ご感想は下記アドレスまで

URL <http://takotuboya.jp>

E-mail tk@takotuboya.jp

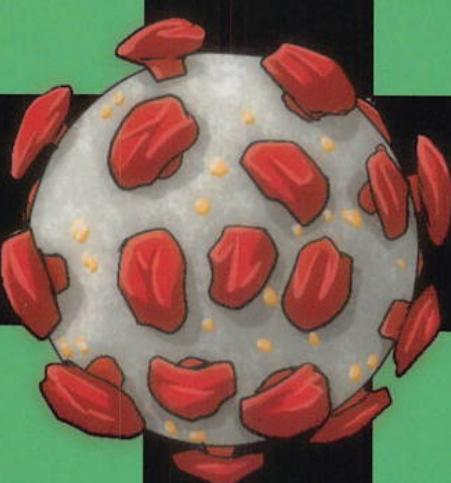
Twitter @takotuboya

Pixiv 1108775

Circle.ms 10018834

TAKOTUBOYA

Oni & Spain Pandemic



Adult Only